

【放射線部】

I. プログラム 責任者 辰野 聡

II. 臨床研修到達目標（選択科目履修4週）

1. 一般目標（G I O）

臨床医として必要とされる画像診断の基本的知識を身につける。

2. 行動目標（S B O）（経験目標）

- 1) 各種造影剤の適応と副作用を理解し、副作用発現時に対処することができる。
- 2) CT と MRI の主要所見を指摘できる。
- 3) 放射線の人体に対する影響と防護について述べることができる。

3. プログラム

1) 第1～4週

- (1) 一般撮影室、CT 室・MRI 室における撮影現場の見学、ポータブル撮影に立ち会う。
- (2) CT と MRI の読影を指導医と共に行う。

III. 臨床研修到達目標（選択科目履修8週）

1. 一般目標（G I O）

臨床医として必要とされる画像診断の基本的知識を身につける。

2. 行動目標（S B O）（経験目標）

- 1) 単純 X 線写真の撮影を適切に指示できる。
- 2) 各種造影剤の適応と副作用を理解し、副作用発現時に対処することができる。
- 3) CT と MRI の主要所見を指摘できる。
- 4) 放射線の人体に対する影響と防護について述べることができる。

3. プログラム

1) 第5～8週

- (1) CT と MRI の読影を指導医と共に行う。

IV. 臨床研修到達目標（選択科目履修12週）

1. 一般目標（G I O）

臨床医として必要とされる画像診断の基本的知識を身につける。

2. 行動目標（S B O）（経験目標）

- 1) 単純 X 線写真、CT の撮影を適切に指示できる。
- 2) 各種造影剤の適応と副作用を理解し、副作用発現時に対処することができる。
- 3) 超音波検査に参加し、主要な所見を指摘できる。
- 4) CT と MRI の主要所見を指摘できる。
- 5) 放射線の人体に対する影響と防護について述べることができる。

3. プログラム

1) 第 9 ～ 1 2 週

- (1) CT と MRI の読影を指導医と共に行う。
- (2) 超音波検査を指導医と共に行い、診断報告書を作成する。

V. 臨床研修到達目標（選択科目履修 1 6 週）

1. 一般目標（G I O）

臨床医として必要とされる画像診断の基本的知識と手技を身につける。

2. 行動目標（S B O）（経験目標）

- 1) 単純 X 線写真と CT の撮影を適切に指示できる。
- 2) 超音波検査に参加し、主要な所見を指摘できる。
- 3) 各種造影剤の適応と副作用を理解し、副作用発現時に対処することができる。
- 4) 単純 X 線写真、CT および MRI の主要所見を指摘できる。
- 5) CT および MRI の基本原理を理解し、アーチファクトを正しく指摘できる。
- 5) 主な核医学検査の異常所見を指摘し、その所見の意味する病態を述べることができる。
- 6) 放射線の人体に対する影響と防護について述べることができる。

3. プログラム

1) 第 1 3 ～ 1 6 週

- (1) CT と MRI の読影を指導医と共に行う。
- (2) 超音波検査を指導医と共に行い、診断報告書を作成する。
- (3) 核医学検査の読影を指導医と共に行う。